



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL <https://www.pegasus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 美馬 成望
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 吉田 泰三 (TEL) 06(6451)1351
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,969	△20.8	499	△78.3	484	△81.0	△206	—
2019年3月期	18,891	11.3	2,306	4.2	2,542	25.2	2,079	63.6
(注) 包括利益	2020年3月期		△622百万円(—%)		2019年3月期		1,393百万円(△7.9%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△8.31	—	△1.0	1.6	3.3
2019年3月期	83.80	—	9.5	8.8	12.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	29,719	21,737	70.9	849.24
2019年3月期	29,853	22,989	74.8	900.23

(参考) 自己資本 2020年3月期 21,070百万円 2019年3月期 22,335百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	602	△1,627	576	5,648
2019年3月期	1,753	△1,751	59	6,202

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	595	28.6	2.7
2020年3月期	—	13.00	—	7.00	20.00	496	—	2.3
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想については未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とし、予想が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年3月期	24,828,600株	2019年3月期	24,828,600株
2020年3月期	17,944株	2019年3月期	17,944株
2020年3月期	24,810,656株	2019年3月期	24,810,656株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,359	△32.3	△21	—	164	△86.7	△98	—
2019年3月期	9,386	4.0	541	△33.4	1,236	△5.3	1,006	4.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	△3.95		—					
2019年3月期	40.55		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2020年3月期	20,006		14,037		70.2	565.78
2019年3月期	20,188		14,744		73.0	594.27

(参考) 自己資本 2020年3月期 14,037百万円 2019年3月期 14,744百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とし、予想が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明会の開催を中止いたします。なお、決算補足説明資料につきましては、2020年5月下旬に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、アメリカを中心とした保護主義的な通商政策により特に中国経済の減速が顕著になり、2020年となつてからの新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって、深刻な景気後退に陥りました。

日本経済は、消費税率の引き上げによる消費の減速に加えて、新型コロナウイルス感染症の流行による影響で、先行きの不確実性が一層高まってきております。

工業用ミシンにつきましては、米中貿易摩擦の影響や中南米の政情不安等の影響により設備投資に対しては慎重な姿勢が見られ、販売は低調に推移しました。一方、自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、世界的に自動車販売に減速傾向が見られるなかで新規取引先開拓に努め、売上高は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

このような環境のもと、当連結会計年度の売上高は149億69百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

利益面につきましては工業用ミシン事業の販売が低調に推移したことで、営業利益は4億99百万円（前年同期比78.3%減）、経常利益は4億84百万円（前年同期比81.0%減）となりました。また、当期および今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の取崩等により親会社株主に帰属する当期純損失は2億6百万円（前年同期は純利益20億79百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、価格戦略機種投入と上級機種の販売を進めておりますが、米中貿易摩擦の影響等により、売上高は122億63百万円（前年同期比24.3%減）、セグメント利益は16億23百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

（ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、販路拡大に向けた販売活動を継続しており、売上高は27億5百万円（前年同期比0.3%増）となりましたが、「PEGASUS AUTO PARTS MONTERREY S.A. DE C.V.」において立ち上げ費用などが嵩み、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント利益59百万円）となりました。

当連結会計年度における子会社の動向につきましては、工業用ミシン事業は、「ペガサス（天津）ミシン有限公司」及び「PEGASUS VIETNAM SEWING MACHINE CO., LTD.」において、戦略機種の生産効率化のための整備を行いました。ダイカスト部品事業は、「PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD.」及び「PEGASUS AUTO PARTS MONTERREY S.A. DE C.V.」において増産体制のための設備投資を行いました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、199億1百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が8億38百万円、現金及び預金が5億円それぞれ減少し、原材料及び貯蔵品が2億29百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.9%増加し、98億17百万円となりました。これは、主として有形固定資産が13億68百万円増加し、投資その他の資産が3億円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、297億19百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.3%増加し、48億23百万円となりました。これは、主として短期借入金が10億69百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億71百万円、流動負債のその他が1億2百万円それぞれ増加し、未払法人税等が5億86百万円、支払手形及び買掛金が3億53百万円、1年内償還予定の社債が1億11百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて35.8%増加し、31億58百万円となりました。これは、主としてリース債務が4億60百万円、繰延税金負債が2億73百万円、長期借入金が1億41百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて16.3%増加し79億82百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、217億37百万円となりました。これは、主として親会社に帰属する当期純損失が2億6百万円となり、為替換算調整勘定が3億58百万円減少したことなどによります。

自己資本比率は前連結会計年度末の74.8%から70.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ5億53百万円減少し、当連結会計年度末には56億48百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億2百万円(前連結会計年度比65.6%減)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益4億73百万円、減価償却費7億64百万円、売上債権の減少額7億60百万円に対し、法人税等の支払額7億62百万円、仕入債務の減少額3億10百万円、たな卸資産の増加額2億47百万円などによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、16億27百万円(前連結会計年度比7.1%減)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出15億60百万円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、5億76百万円(前連結会計年度比864.7%増)となりました。これは主として短期借入金の純増加額10億95百万円、長期借入による収入額6億55百万円に対し、配当金の支払額6億20百万円、長期借入金の返済による支出額3億42百万円、社債の償還による支出額1億6百万円などによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	69.1	72.3	76.6	74.8	70.9
時価ベースの自己資本比率	44.3	77.0	65.7	50.2	29.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	180.2	177.4	100.4	178.5	820.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	34.8	34.1	40.2	32.4	8.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値より算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により世界的に経済活動が縮小しており、流行拡大の範囲や終息時期も見通せない状況であります。

このような状況の中、現段階において、次期の業績予想を合理的に算定することが非常に困難であります。従いまして、業績予想を未定とし、予想が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、将来における I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,499,444	5,998,703
受取手形及び売掛金	4,694,923	3,856,634
商品及び製品	5,253,712	5,180,204
仕掛品	728,371	658,289
原材料及び貯蔵品	3,528,314	3,757,987
未収入金	12,825	109,275
その他	398,382	375,922
貸倒引当金	△36,676	△35,142
流動資産合計	21,079,297	19,901,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,925,960	8,292,098
減価償却累計額	△3,100,803	△3,210,900
建物及び構築物（純額）	2,825,156	5,081,197
機械装置及び運搬具	6,535,946	6,665,724
減価償却累計額	△4,672,145	△4,680,800
機械装置及び運搬具（純額）	1,863,801	1,984,924
工具、器具及び備品	909,032	907,781
減価償却累計額	△746,686	△732,539
工具、器具及び備品（純額）	162,346	175,242
土地	918,156	918,344
リース資産	69,033	173,158
減価償却累計額	△22,307	△38,312
リース資産（純額）	46,725	134,845
使用権資産	—	516,632
減価償却累計額	—	△66,519
使用権資産（純額）	—	450,113
建設仮勘定	1,722,232	162,488
有形固定資産合計	7,538,418	8,907,156
無形固定資産	561,706	537,213
投資その他の資産		
投資有価証券	186,979	136,203
退職給付に係る資産	45,816	—
繰延税金資産	298,670	114,724
その他	142,334	122,678
投資その他の資産合計	673,800	373,606
固定資産合計	8,773,925	9,817,976
資産合計	29,853,223	29,719,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,596,219	1,243,110
短期借入金	1,049,050	2,118,425
1年内返済予定の長期借入金	288,630	460,336
1年内償還予定の社債	111,000	—
リース債務	9,045	98,736
未払法人税等	631,798	45,535
賞与引当金	188,931	92,434
その他	662,759	765,403
流動負債合計	4,537,435	4,823,982
固定負債		
長期借入金	1,498,190	1,639,361
リース債務	41,693	502,584
長期預り保証金	117,000	117,000
退職給付に係る負債	558,617	567,518
繰延税金負債	—	273,946
その他	110,914	57,816
固定負債合計	2,326,416	3,158,226
負債合計	6,863,852	7,982,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	15,996,758	15,170,265
自己株式	△5,350	△5,350
株主資本合計	21,230,045	20,403,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,467	21,867
為替換算調整勘定	1,091,033	732,104
退職給付に係る調整累計額	3,678	△87,273
その他の包括利益累計額合計	1,105,179	666,698
非支配株主持分	654,146	667,390
純資産合計	22,989,371	21,737,641
負債純資産合計	29,853,223	29,719,850

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	18,891,106	14,969,269
売上原価	11,753,875	9,792,276
売上総利益	7,137,231	5,176,993
販売費及び一般管理費	4,831,164	4,677,413
営業利益	2,306,067	499,580
営業外収益		
受取利息	28,022	16,226
受取配当金	31,632	5,336
為替差益	204,403	—
助成金収入	8,033	64,764
その他	28,512	22,696
営業外収益合計	300,604	109,022
営業外費用		
支払利息	57,295	69,689
為替差損	—	45,441
その他	6,399	9,252
営業外費用合計	63,694	124,383
経常利益	2,542,977	484,219
特別利益		
固定資産売却益	1,186	2,326
保険返戻金	—	13,670
特別利益合計	1,186	15,996
特別損失		
固定資産売却損	4,623	1,054
投資有価証券評価損	—	25,563
特別損失合計	4,623	26,618
税金等調整前当期純利益	2,539,540	473,597
法人税、住民税及び事業税	582,862	180,576
法人税等調整額	△165,416	460,970
法人税等合計	417,446	641,546
当期純利益又は当期純損失(△)	2,122,094	△167,949
非支配株主に帰属する当期純利益	43,059	38,276
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	2,079,035	△206,225

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	2,122,094	△167,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,015	11,399
為替換算調整勘定	△787,054	△375,027
退職給付に係る調整額	71,060	△90,951
その他の包括利益合計	△729,009	△454,580
包括利益	1,393,085	△622,529
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,383,613	△644,707
非支配株主に係る包括利益	9,471	22,178

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,983,084	14,488,368	△5,350	19,721,655
当期変動額					
剰余金の配当			△570,645		△570,645
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,079,035		2,079,035
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,508,390	—	1,508,390
当期末残高	2,255,553	2,983,084	15,996,758	△5,350	21,230,045

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	23,482	1,844,500	△67,381	1,800,601	678,155	22,200,411
当期変動額						
剰余金の配当						△570,645
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,079,035
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△13,015	△753,466	71,060	△695,421	△24,008	△719,430
当期変動額合計	△13,015	△753,466	71,060	△695,421	△24,008	788,959
当期末残高	10,467	1,091,033	3,678	1,105,179	654,146	22,989,371

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,983,084	15,996,758	△5,350	21,230,045
当期変動額					
剰余金の配当			△620,266		△620,266
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△206,225		△206,225
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△826,492	—	△826,492
当期末残高	2,255,553	2,983,084	15,170,265	△5,350	20,403,553

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	10,467	1,091,033	3,678	1,105,179	654,146	22,989,371
当期変動額						
剰余金の配当						△620,266
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△206,225
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	11,399	△358,929	△90,951	△438,481	13,244	△425,237
当期変動額合計	11,399	△358,929	△90,951	△438,481	13,244	△1,251,729
当期末残高	21,867	732,104	△87,273	666,698	667,390	21,737,641

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,539,540	473,597
減価償却費	619,783	764,873
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△111,764	△911
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	58,807	△90,536
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△45,816	45,816
受取利息及び受取配当金	△59,655	△21,562
助成金収入	△8,033	△64,764
支払利息	57,295	69,689
為替差損益 (△は益)	59,109	△9,999
固定資産売却損益 (△は益)	3,436	△1,271
保険戻金	—	△13,670
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	25,563
売上債権の増減額 (△は増加)	△468,014	760,836
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△676,755	△247,410
仕入債務の増減額 (△は減少)	125,895	△310,019
未払金の増減額 (△は減少)	64,523	86,527
その他	1,744	△118,043
小計	2,160,098	1,348,714
利息及び配当金の受取額	63,561	21,804
利息の支払額	△54,056	△69,630
助成金の受取額	8,033	64,764
法人税等の支払額	△424,511	△762,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,753,124	602,806
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△983,535	△460,055
定期預金の払戻による収入	1,613,247	402,557
有形固定資産の取得による支出	△2,371,110	△1,560,660
有形固定資産の売却による収入	8,505	12,273
無形固定資産の取得による支出	△9,091	△22,579
その他	△9,184	949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,751,168	△1,627,515

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	1,095,600
長期借入れによる収入	1,350,000	655,000
長期借入金の返済による支出	△249,920	△342,123
社債の償還による支出	△311,860	△106,430
配当金の支払額	△570,645	△620,266
非支配株主への配当金の支払額	△33,479	△8,934
リース債務の返済による支出	—	△88,972
その他	△24,294	△6,978
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,800	576,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	△176,574	△105,942
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△114,817	△553,755
現金及び現金同等物の期首残高	6,316,932	6,202,114
現金及び現金同等物の期末残高	6,202,114	5,648,359

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当連結会計年度より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度における連結貸借対照表は、有形固定資産の「使用権資産」が450,113千円増加し、流動負債の「リース債務」が76,483千円及び固定負債の「リース債務」が378,894千円増加しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社企業グループの報告セグメントは、当社企業グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社企業グループは、製品・サービス別の製造販売体制を置き、取り扱う製品・サービスについて全世界を対象とした包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

従って、当社企業グループは製造販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「工業用ミシン」及び「ダイカスト部品」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「工業用ミシン」は、主にニット衣料等の縫製に使用される環縫いミシンの製造販売をしております。「ダイカスト部品」は、自動車用安全ベルト関連部品をはじめとするダイカスト部品の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業のセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,193,467	2,697,639	18,891,106	—	18,891,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,193,467	2,697,639	18,891,106	—	18,891,106
セグメント利益	3,423,813	59,942	3,483,755	△1,177,688	2,306,067
セグメント資産	20,015,854	5,012,307	25,028,161	4,825,062	29,853,223
その他の項目					
減価償却費	332,496	267,425	599,921	19,861	619,783
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	357,198	614,581	971,780	1,408,421	2,380,201

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産4,825,062千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,263,399	2,705,870	14,969,269	—	14,969,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,263,399	2,705,870	14,969,269	—	14,969,269
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,623,332	△1,092	1,622,239	△1,122,659	499,580
セグメント資産	20,411,781	5,525,814	25,937,596	3,782,254	29,719,850
その他の項目					
減価償却費	388,121	329,716	717,838	47,035	764,873
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	899,521	337,390	1,236,911	346,328	1,583,240

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産3,782,254千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	900円23銭	1株当たり純資産額	849円24銭
1株当たり当期純利益金額	83円80銭	1株当たり当期純損失金額(△)	△8円31銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	2,079,035	△206,225
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(千円)	2,079,035	△206,225
期中平均株式数(株)	24,810,656	24,810,656

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	22,989,371	21,737,641
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	654,146	667,390
(うち非支配株主持分)(千円)	(654,146)	(667,390)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	22,335,225	21,070,251
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	24,810,656	24,810,656

(重要な後発事象)

該当事項はありません。